

研修初回年月日： 年 月 日

研修修了年月日： 年 月 日

*研修が修了するまで修了年月日は空欄で結構です。

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属	
研修内容	達成目標	自己評価 達成：○ 未達成：×	＜指導医署名＞ 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
第1章 PCIの適応				
エビデンス	A		年 月 日	
ガイドライン	A		年 月 日	
緊急PCI	A		年 月 日	
待機的PCI	A		年 月 日	
リスク評価	A		年 月 日	
Appropriate PCI	A		年 月 日	

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属	
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
第2章 PCI術前				
患者の人権、医の倫理 説明と同意	A		年 月 日	
放射線防護	A		年 月 日	
合併症対策	感染症対策	A	年 月 日	
	薬剤アレルギー	A	年 月 日	
	造影剤腎症	A	年 月 日	
	出血リスク	A	年 月 日	
術前診断	非観血的検査	A	年 月 日	
	冠動脈造影	A	年 月 日	
	冠動脈の病理	A	年 月 日	

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属	
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
第3章 PCI術中-1				
アプローチ	穿刺	A		年 月 日
デバイス	ガイドングカテーテル	A		年 月 日
	ガイドワイヤー	A		年 月 日
	マイクロ,サポートカテーテル	A		年 月 日
	バルーン (PB,CBを含む)	A		年 月 日
	ステント	A		年 月 日
	ロータブレーター	C		年 月 日
	エキシマレーザー	C		年 月 日
	方向性冠動脈粥腫切 除術 (DCA)	C		年 月 日
	血栓吸引 末梢保護デバイス	A		年 月 日
補助循環	大動脈内バルーンパ ンピング (IABP)	A		年 月 日
	PCPS (経皮的心肺補助)	C		年 月 日

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属		
研修内容		達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
画像診断	冠動脈造影 (QCAを含む)	A		年 月 日	
	IVUS (血管内視鏡超音波 法)	A		年 月 日	
	OCT (Optical Coherence Tomography)	C		年 月 日	
	血管内視鏡	C		年 月 日	
機能的診断	FFR/iFR	A		年 月 日	

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属	
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
第4章 PCI術中-2				
薬物療法	抗血小板療法 (DAPT)	A		年 月 日
	抗凝固療法	A		年 月 日
止血	用手	A		年 月 日
	止血デバイス	C		年 月 日
(PCIの合併症と対策) ※必ずしも経験の必要はないが、CVIT教育セミナーの合併症に関する講義またはCVIT e-ラーニングとは別に、合併症対策に関する特別講座(CVIT e-ラーニング内)を必ず履修することで、合併症対策のシミュレーションを行い、予防および対処ができる。				
PCIの合併症 と対策	穿孔	A		年 月 日
	No-Reflow	A		年 月 日
	周術期心筋梗塞	A		年 月 日
	側枝閉塞	A		年 月 日
	ヘパリン起因性血小板減少症 (HIT)	A		年 月 日
	冠動脈解離	A		年 月 日
	大動脈解離	A		年 月 日
	デバイス脱落 抜去困難	A		年 月 日
	ステント血栓症	A		年 月 日

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属	
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
第5章 PCIに影響を及ぼす因子～短期予後及び長期予後を含めて～				
病 変	慢性完全閉塞 (CTO)	C		年 月 日
	左主幹部病変	C		年 月 日
	複雑病変 (小血管, diffuse & longびまん性, 分岐部, 石灰化, 多枝, 入口部, バイパスグラフト, 血栓性病変)	A		年 月 日
疾 患	糖尿病, CKD/HD, 高齢者	A		年 月 日

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属		
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する		
第6章 PCI術後					
再狭窄	A		年 月 日		
心臓リハビリテーション	A		年 月 日		
薬物療法	至適薬物療法(OMT) 抗血栓療法	A	年 月 日		

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属	
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する	
第7章 冠動脈以外のインターベンション				
四肢動脈 (EVT)	B		年 月 日	
その他 (必ずしも実践出来る必要は無い)	腎動脈	C		年 月 日
	大動脈	C		年 月 日
	頸動脈	C		年 月 日
	肺動脈	C		年 月 日
	肺塞栓症 深部静脈血栓症	C		年 月 日
	心臓弁膜	C		年 月 日
	閉塞型肥大型 心筋症 (HOCM)	C		年 月 日
	先天性心疾患	C		年 月 日

心血管カテーテル治療専門医 研修カリキュラム達成度 評価表

氏名			所属		
研修内容	達成目標	自己評価 達成:○ 未達成:×	<指導医署名> 指導医または施設群指導医が達成していると評価した日付 を記載し、署名する		
第8章 多方面から見たPCIの関連事項					
ハートチーム	A				年 月 日
医療経済 保険診療	A				年 月 日
PCIの術者経験と成績	A				年 月 日